

# 小規模多機能型居宅介護 サービス評価

【令和 6 年度】

## 小規模多機能ホーム ふもとの家

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）、・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18 : 00 ~19 : 00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今 吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	4 人	4 人	15 人

前回の改善計画	グループラインを活用し情報共有を図る。また新規利用開始時には必ず計画作成担当者及び管理者は事前に知り得た基本情報等を職員全員に共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	グループラインを活用して情報共有を行ったが、可能な限り努めたものの、情報の不足や情報共有の遅延が生じることがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	4	6	5	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	9	3	1	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	11	1	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	4	1	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者が心を開くよう、声かけや情報収集に努め、利用開始前に個人的に情報を集めた後、利用後も嫌がらない範囲で会話を続け、トイレや浴室の場所、日常の流れを伝えながら不安を軽減させるために細かく声をかけた。また、グループラインをうまく活用し、新規利用者に対して、特に心配りをし、安心できる雰囲気を作ることで良い関係性を築いた。訪問時には積極的にコミュニケーションをとり、利用者の興味に合わせた課題を探すことに注力した。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始時に十分な情報が得られず、特にグループラインでの情報共有が不十分だったため、ミーティングなどの話し合いが行われず、介護者や家族との関係構築が難しかった。その結果、事前の情報が不足していたため、利用者を深く理解することができず、一般的なケアにとどまることが多かった。また、利用開始前にミーティングが行われず、重要な情報が当日に伝わることもあり、家族の不安に対する受け止め方にも疑問が残ることもあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
知り得た情報はその日のうちにグループラインに送信し、情報共有を図るよう努めるとともに、新規利用者のアセスメント情報は 1 か月間「かいシート」に貼り、情報の変更があった際にはその都度書き換えるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式
------------------

実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00))
-----	---------------------------------

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)
------------------------

メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今 吉・岩元・田中
------	---

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	5 人	8 人	2 人	15 人

前回の改善計画	ケアカンファレンスを月 2 回行えるよう計画を立て予定表に提示する。また話し合った内容は記録しファイリングを行い職員全員が閲覧できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標の月 2 回のカンファレンスは実施できた月もあったが、後半はほとんどカンファレンスが行えず、カンファレンスでの決定事項などの情報共有ができていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか？	1	3	8	3	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	4	7	2	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	2	3	8	2	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	3	5	4	3	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者のやりたいことややりがいを見つけるために本人や家族に話を聞き、目標に近づけるよう努め、関係作りを重視して少しずつ会話を増やし、ご利用者の声に耳を傾けている。また、体調変化時にはスタッフ同士で声を掛け合い、情報共有を行いながら適切に対応できた。これにより、ご利用者の意向を尊重し、柔軟なサポートを提供できるようになり、信頼関係が深まることでより適切なサポートが提供できるようになった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人の目標が不明確でカンファレンスも月に 2 回行われていないこともあった為、じっくりとした議論ができておらず、発言力や自信の不足、職務上の利用者との接点の希薄さが感じられた。また、カンファレンスで話し合った内容の情報共有も不十分で、計画的に進めることができていないこともあった。これらの理由として、目標の不明確さやカンファレンスの不足、発言力や自信の欠如、利用者との接点不足が影響し、情報共有や計画的な進行ができていないため、職員間の連携不足を改善する必要があると思われる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
各利用者担当が主体となり、ご本人やご家族からの聞き取りをもとに得た情報を整理し、その内容を基に「思いを叶えま表」を作成して可視化することで、スタッフ全員で情報共有し、最低 5 名の利用者様の思いの実現に努める。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	8 人	3 人	0 人	15 人

前回の改善計画	ご利用者の変化や支援内容の変更などその日の職員だけではなく全体で共有できるよう当日のリーダーはラインや連絡ノートを活用し情報共有を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報共有の取り組みとして、ラインや連絡ノートを活用し利用者の変化や支援内容の変化を全職員で共有することを目指したが、実際にはラインなどのツールを活用した情報共有が不十分であり、情報が職員間でうまく伝達されていない場面が見受けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	5	6	4	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	10	1	1	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		7	6	3	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	5	9	1		15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	12	1	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当日スタッフと情報共有を行い、上司への報告も実施したうえで、他職種と連携しラインや朝礼で必要な情報を共有した。利用者の気持ちや変化を言語化し、体調変化時にはお互いに声を掛け合い支援できた場面もあり、情報共有と連携を通じて利用者の状態変化に迅速に対応でき、チーム全体で一貫した支援が可能となり、互いに声を掛け合うことで支援の質が向上に努められた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
意思表示が難しいご利用者に対しては推測で支援することがあり、目標やニーズが把握できず思い通りの支援ができていないため、会話の時間を増やし、情報共有を強化する必要がある。推測で支援を行うと利用者のニーズや目標が正確に把握できず、思い通りの支援が難しくなるため、対話と情報共有を強化することでより適切な支援が可能になる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
グループライン（業務用・利用者状況用）を分けて利用者様の状況を把握し、その方の情報を知るだけでなく、スタッフ全員でその情報を活かした支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18 : 00 ~19 : 00)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	1 人	8 人	5 人	15 人

前回の改善計画	生活歴や暮らし方など本人の取り巻く環境を知る為に、担当職員を中心に責任を持って引き続き生活歴などの情報収集を行いエコマップなどにまとめていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	情報収集には努めていたが、全員のご利用者のエコマップ作成には至らなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	1	5	8	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	2	4	7	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	1	6	6	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	1	2	5	7	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域との繋がりが途絶えないように利用日を工夫し、訪問時に家族や地域の方にお会いできた際には情報を得るように努め、またご家族と過ごす時間も確保できるようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
全員のご家族や地域との関わりがなく、本人の望む暮らしの支援ができていないことに加え、前回の改善計画で挙げられていたエコマップの作成ができておらず、利用者とのコミュニケーション不足や情報収集が不十分で、じっくり利用者と話す時間も作れていない。さらに、エコマップに対する意識が低く、その作成ができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
スタッフ全体でエコマップの作成に取り組み、地域の関わりや関係性を把握する。本人の「つながり」をスタッフ全員で共有しこれまでの関係性を大切に支援を行う。ご利用者全員が対象ではあるが、評価対象は 5 名に絞り実践に取り組む。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	7 人	6 人	3 人	15 人

前回の改善計画	ご利用者の状態に合わせた柔軟に対応を行い。また必要に応じて他事業所や民生委員など地域と連携し支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	柔軟な対応を行なうも定員の関係で一部の利用者に影響がでる場合があった。 他事業者や民生委員との連携は積極的なものではなく、取り組みも一部の職員に限られた感がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	7	3	5	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	6	7	2	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	10	4	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	3	10	2	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者のニーズに応じて、通い、訪問、宿泊サービスを柔軟に提供し、日々の利用者の状態や変化をミーティングで情報共有して適切に対応していた。変化に気付いた場合は迅速に報告し、改善策を実施し、他事業者と連携して必要なサポートを提供。食事についても利用者の好みに合わせて工夫し、体調不良時には迅速に宿泊対応を行う準備が整っており、急な対応にも柔軟に対応し、主治医や管理者と協力しながらサービスを提供出来ていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
記録の見返しが行われておらず、以前の記録方法から形式が変わったことで確認の機会が減少している。また、訴えない利用者に対する真の希望に沿ったケアができていないか不明で、地域の資源を活用した支援も少なく他事業者や地域との連携が不足している。定員の制約により、通いや泊りなどの利用者やご家族のニーズに十分に答えられないこともあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
担当利用者の 1 日の過ごし方を本人や家族に聞き取り、他の職員にも共有する。その情報をもとに、通い・訪問時に本人ができていることや行っていることを確認し、1 つでも継続できるよう支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00)
6. 連携・協働	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	9 人	4 人	人	15 人

前回の改善計画	地域交流活動「お茶ったもんせ」を継続開催し、他イベント等も活用し地域との交流を図っていく。また事業所外での会議などにも参加していき、会議内容は全職員で共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	去年に比べ、地域交流活動「お茶ったもんせ」を開催する事ができ、地域の方との交流も図る事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	3	3	7	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	2	2	10	15
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	2	4	8	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	10	3	2	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
お茶ったもんせや行事を通じて地域の方々やご家族との交流ができ、ライフサポートワーカーとして地域のイベントにも参加することができた。また、夏祭りや餅つきなどでは地域の方々に声をかけて協力をお願いし、診療所との関わりも定期的に持つことができていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域住民の方々とは時折施設を訪れているものの、子供たちの訪問は難しい状況。また、コロナやインフルエンザの流行により、お茶ったもんせなどの開催ができなかった月もあった。自治体や地域包括支援センターとの会議にも参加できず、地域の団体などのイベントへの参加もなかなかできていない状況。結果として、事業所外での会議や地域イベントにはなかなか参加できていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
お茶ったもんせを毎月開催。必ず参加された地域の方全員と笑顔で挨拶を交わしコミュニケーションを図る。また地域の清掃作業には必ず参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00)
7. 運営	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	4 人	3 人	8 人	15 人

前回の改善計画	定期的に運営推進会議を行い、参加職員も毎回同じメンバーではなく勤務調整等行い出来るだけ多く参加できるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的に運営推進会議を開催できたが、介護職はあまり参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	1	2	4	8	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	0	6	4	5	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1	3	3	8	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	0	6	4	5	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設周辺の環境美化に努め、地域住民への配慮として落ち葉や溝の清掃を行い、道路の清掃時には地域住民との接点を持ちながら、さわやかな挨拶を心掛けた。また、地域の方がいらっしゃった際にはこちらから積極的に話しかけ、ご利用者の思いをしっかりと聞き取るよう努めていた。職員間では定期的に事業所のあり方について意見交換を行い、利用者や家族からの意見には真摯に耳を傾け、適切な対応を心掛け、地域の方々との交流の機会もあり、お茶会などで意見を聞くことができ、その情報を利用者様に共有することもできた。定期的ではないものの、苦情や意見があった場合には、職員間で話し合い、報告し合いながら対応を検討。個人としては十分にできていない部分もあったが事業所としてはこれらの取り組みをしっかりと実践していた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
運営推進会議に参加する機会がなく、会議で行われた内容についても把握できていない状況もあった。定期的かつ計画的に会議が開催されていないため、事業所の在り方について自分の意見を訴えることができず、話し合いにも参加しないこともあった。また、地域からの意見や苦情を直接聞くことができず、会議内容の把握も不十分。意見や苦情があった場合でも、自分から改善や実行に向けた対応ができておらず、他の職員に対応を任せることが多い状況であった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
運営推進会議には勤務調整行ない介護職も参加出来るようにする。また地域の奉仕作業や会議にも参加し地域連携を図る。	



事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18 : 00 ~19 : 00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	5 人	6 人	2 人	15 人

前回の改善計画	研修案内が来た際に職員に周知行い参加希望者を募る。また年間研修計画を立て計画的に研修に参加できるよう体制を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	IDO 研修など参加したい研修には参加できなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	6	3	1	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	3	4	6	15
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	4	10	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	5	5	4	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員会議や IDO セミナーなど決められた研修には参加出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域連絡会や決められた研修以外には参加できておらず、リスクマネジメントには努めているものの、転倒が続きたりヒヤリハットの記録ができていないこともあった。また、地域連絡会や研修の日程が分からず参加できなかった。リスクマネジメントについては職員全員で話し合う機会が少なく、その日の職員同士での話し合いが多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
IDO 研修など参加したい研修に積極的に参加できるようにし、介護技術の向上を図るために外部から講師を招いて勉強会を実施する。特に腰痛に関する職員からの要望が多いため、腰痛予防に関する研修は必ず行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 2 月 25 日 (18:00 ~19:00)
9. 人権・プライバシー	メンバー	森・砂走・富田・西野・徳留・服部・福山 池端・中濱・小牟田・山口(美)・山口(理)・今 吉・岩元・田中

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	4 人	10 人	1 人	0 人	15 人

前回の改善計画	プライバシー保護や人権に関する研修を行い、今後も身体拘束や虐待を行わず、それに結びつくような場面があればお互い注意し合う。
前回の改善計画に対する取組み結果	定期的にプライバシー保護や人権に関する研修を開催する事ができ、また身体拘束や虐待もなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	12	2	1	0	15
②	虐待は行われていない	11	4	0	0	15
③	プライバシーが守られている	5	9	1	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	3	2	8	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	9	2	0	15

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束や虐待を行わないよう意識を持ってケアに取り組んでおり、定期的に身体拘束や虐待に関する研修を開催して、日々意識的にケアを実施していた。また、人権の尊重を念頭に置きながら職務を遂行していた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介護現場において、脱衣所でご利用者や職員が入ってしまう場面があり、着替えの際にプライバシーを確保できなかったことがあった。さらに、脱衣所に必要な物品があったため、無意識に入ってしまうことがあった点も改善が求められる状況。トイレ利用中には、ノックをしたにもかかわらず音や声が聞こえなかったため、ドアを開けてしまうこともあり、加えて、時間に追われている際には、自分に余裕がなく、ご利用者に十分な対応ができないこともあった。さらに、本人様の意思に関わらず介護を進めてしまうことがあり、その点についてももっと注意深く対応すべきであった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き身体拘束や虐待を行わず、プライバシーに関わる情報は暗号化し、人権・プライバシー保護に努め、今後も不適切なケアに関する研修を開催し、日々意識を持って職務遂行に努める。	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	8		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	7		1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	7	1	
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	8		

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

- ・15人それぞれが交替勤務や家庭のことも忙しい中で自分の評価を記入し、対策としてやるべきことを目標とされていると思う。
- ・職員全体の改善計画に対する情報共有を図る必要があるのでは？
- ・スタッフ間で相談や提案をしやすい環境や機会が設けてあるので、スタッフ全員の意見が反映されていると思う。

- ・9個の改善計画の目標を達成する為にさらに具体的な計画を立て取り組み展開し達成を目指す。
- ・全スタッフが常に意識し取り組み展開していけるよう計画や目標等は掲示する。

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・5と9については、ほとんどの方が良い結果の記入があり、利用者の方の日常をサポートされている様子に心が温かくなります。
- ・個々の職員の強い意識が必要。
- ・改善計画の目標達成に向けて一生懸命取り組んでいると感じる。

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

- ・地域の私達が参加させて頂く運営推進会議に皆が(15名)少しの時間ずつでも問題点を発言出来たらいいのかな？と思う。
- ・スタッフ間でしっかり情報共有できていると思う。今回達成できなかったとしても、次回達成できるように取り組んでほしい。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・改善計画の目標が具体的なのでスタッフも取り組みやすいと思う。
- ・IDO研修とは何でしょうか？なかなか研修会に参加出来なかったり、ラインでの文章も既読する時間も足りない位に利用者の為に日々動かれていて大変だろうと思いました。
- ・気付いたことに関して報告・連絡・相談しやすい環境づくりに努めてほしい。

【改善計画】※後日記入

- ・具体的改善計画を立てさらにチーム管理、途中経過確認・評価を行い目標の達成を目指す。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？	7		1
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	7		1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7		1
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	7	1	
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・改善されている項目やあと一步の項目もありましたが、取り組んでいる様子は見受けられました。
- ・事業所は地域の方々にひらかれた雰囲気があり、施設という感じがなくとても良いと思っています。
- ・事業所としては感じが良い。
- ・事業所内外ともに整理・手入れされていて居心地よく感じる。

【前回の改善計画】

- ・屋内、屋外、畑を含め定期的な清掃・管理が出来るよう担当者を決め計画的に掃除等行っていく。
- ・あずま屋を開放する等、地域との交流の場となるよう有効活用する。

※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見

- ・事業所を利用されている人も、そうでない人も誰でも気軽に訪れるようになればいいと思う。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・屋内・屋外・畑などきれいに清掃がされている。不快な臭いもなく居心地が良い。
- ・利用者の方がどちらから来られているのか分かれば民生委員の方へ事業所へも来て下さいと伝えてみたらいかがか？私は毎回お会いできて嬉しい。
- ・素晴らしい環境であると思う。
- ・とても清潔な環境だと思うので今後も維持してほしい。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・地域の方や民生員さんへ声をかけ、あずま屋でのイベントを検討。あずま屋や畑といった環境を地域との繋がりの方で有効活用していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	8		
1	職員はあいさつできていますか？	8		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	8		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	8		
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域のイベントや保育園とも関りをもって地域の為に活動していると思う。
- ・皆さん笑顔で対応されていてよい環境だと思う。

【前回の改善計画】

- ・行事等を通し地域の方や近隣の保育園との交流を増やし関係性を深めていく。
- ・地域の清掃作業など地域へ出向いて交流を図る。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・今の時点で十分地域との関りがもてているので今後も継続してほしい。
- ・地域の交流は良好であら。
- ・地域の行事がほとんどなくなったので、なかなか交流が出来ないと思った。
- ・高齢者と乳幼児なので感染症予防の為、大事をとって計画通りにはできなかった。
- ・「お茶ったもんせ」等積極的に地域との関りに取り組んでいる。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・定期的に地域との交流計画を立て実行されている
- ・地域の方々への挨拶や声掛けを継続してより一層事業所のことを知ってもらえたら嬉しく思う。

【改善計画】※後日記入

- ・毎月「お茶ったもんせ」を継続開催し地域の方々との交流を深める。
- ・明るい挨拶を心掛け良い雰囲気づくりに努める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7		1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	5	3	
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	4		4
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	1	2
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6		2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・様々な年中行事(門松づくり・初詣・クリスマス会など)を実行していて楽しそう。

【前回の改善計画】

- ・自治会や民生委員の定例会の日時を把握し参加する。
- ・ご利用者の地域行事を把握し地域行事へ参加して頂けるよう支援する。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・自治会長や民生委員との連携はこれまで通り密にしていってもらいたい。
- ・個人チェック集計を見ると利用者との対話の必要性を感じる。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み」をテーマにした自由意見】

- ・細めにインスタで利用者様を支える取り組みを拝見しています。とても参考になります。
- ・その方の生まれた、又は暮らしてきた場所・地域に出向いて行事に参加するなどとても大切だと思いながら、実際なかなか実現出来ないもどかしさはよく分かります。まずは何か1つでも(小さなことでも)よいと思う。
- ・地域行事への利用者との参加や、一時帰宅を支援等、今後も継続してもらいたい。

【改善計画】※後日記入

- ・多くの方に関心を持っていただけるよう、事業所での取り組みなどInstagramを活用して発信していく。
- ・一時帰宅や墓参りなど地域との繋がりを意識した個別支援を積極的に実施する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	1	
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	8		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	6		2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	7		1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5		3

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域の実情の意見交換が出来ていたと思う。

【前回の改善計画】

- ・計画的に運営推進会議を開催し推進委員や地域の方々からの意見を反映した取り組みを職員一丸となって行っていく。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・会議が堅苦しくならないよう、発言しやすい雰囲気を作ってくれ有意義な意見交換ができたと思う。
- ・

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・パワーポイントを使用し事業所の取り組みが説明されている。
- ・運営推進会議で保険者(行政)の声を聞きたい。
- ・利用者の方々の笑顔いっぱいの写真が見ることができ嬉しく思う。
- ・会議では事業所の日常を見聞きし他の話になり終わってしまうので、職員の困りごと等あればどのように対応するのか？話しやすい場で発言の場があるのか聞いてみたい。

【改善計画】※後日記入

- ・活動内容が伝わりやすいよう工夫し、報告を行う。また、運営推進会議では推進委員の皆さんが発言しやすいよう、タイムスケジュールやレジメの管理を行う。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6		2
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	4	1	3
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3		5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	2	6	
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	8		

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域と方々と一緒に行うことが本当の災害時には役立つことは分かっているが、なかなか時間や人の関係で困難だろうと思う。しかし色々な事業所の中でも地域とのつながりが強い事業所だと感じる。
- ・参加したことがないのでわからない。
- ・訓練、備蓄、定期的な防災セットの点検はきつとしていると思う。

【前回の改善計画】

- ・定期的な避難訓練に加え、地域の方々を含めた訓練を行っていく。

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

- ・災害時の対処法、備蓄、職員確保、利用者や地域の方の避難支援等様々な想定をして訓練してもらえればと思う。
- ・

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・運営推進会議で防災をテーマに話し合ってもいいと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・地域の方々と共に防災訓練を計画・実施する。また、訓練時には推進委員の方々への見学案内や活動報告を行い、地域防災に関するテーマについて話し合う場を設ける有事の際、円滑な避難や連携がとれるよう地域防災委員体制を整える。



小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 山陵会	代表者	理事長 徳永正義	法人・ 事業所 の特徴	法人内に特別養護老人ホーム(ショートステイ)、居宅介護支援事業所、デイサービス、訪問介護などがあり、介護サービスが柔軟に受けられる体制となっている。事業所としては、ご利用者が今まで暮らしていた生活や望む暮らしの継続を目標として、季節に応じた野菜と一緒に作り収穫する。地域との交流では定期的な「お茶ったもんせ」を開催。理念である「三者の喜び」の実践を行なっている。
事業所名	小規模多機能ホーム ふもとの家	管理者	森 泰治		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	2 人	3 人	人	人	人	3 人	3 人	人	12 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 個の改善計画の目標を達成する為にさらに具体的な計画を立て取り組み展開し達成を目指す。</li> <li>・全スタッフが常に意識し取り組み展開していけるよう計画や目標等は掲示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9 個の項目において具体的な改善計画を立て取り組んでいたが途中経過等を確認、共有する場がなかった為、評価しづらい部分があったので進行状況の把握といった課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・15 人それぞれが交替勤務や家庭のことも忙しい中で自分の評価を記入し、対策としてやるべきことを目標とされていると思う。</li> <li>・職員全体の改善計画に対する情報共有を図る必要があるのでは？</li> <li>・スタッフ間で相談や提案をしやすい環境や機会が設けてあるので、スタッフ全員の意見が反映されていると思う。</li> <li>・5 と 9 については、ほとんどの方が良い結果の記入があり、利用者の方の日常をサポートされている様子が温かくなります。</li> <li>・個々の職員の強い意識が必要。</li> <li>・改善計画の目標達成に向けて一生懸命取り組んでいると感じる。</li> <li>・地域の私達が参加させて頂く運営推進会議に皆が(15 名)少しの時間ずつでも問題点を発言出来たらいいのかな？と思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的改善計画を立てさらにチーム管理、途中経過確認・評価を行い目標の達成を目指す。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフ間でしっかり情報共有できていると思う。今回達成できなかったとしても、次回達成できるように取り組んでほしい。</li> <li>・改善計画の目標が具体的なのでスタッフも取り組みやすいと思う。</li> <li>・IDO 研修とは何でしょうか？なかなか研修会に参加出来なかったり、ラインでの文章も既読する時間も足りない位に利用者の為に日々動かれていて大変だろうと思いました。</li> <li>・気付いたことに関して報告・連絡・相談しやすい環境づくりに努めてほしい。</li> </ul>	
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内、屋外、畑を含め定期的な清掃・管理が出来るよう担当者を決め計画的に掃除等行っていく。</li> <li>・あずま屋を開放する等、地域との交流の場となるよう有効活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境整備は行っていたが計画的な清掃作業といった点では不十分な点があった。また畑の管理も特定のスタッフでの対応となることが多く管理に課題が残った。</li> <li>・あずま屋でのイベントは行えていたが開放までには至らなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善されている項目やあと一步の項目もありましたが、取り組んでいる様子は見受けられました。</li> <li>・事業所は地域の方々にひらかれた雰囲気があり、施設という感じがなくとても良いと思っています。</li> <li>・事業所としては感じが良い。</li> <li>・事業所内外ともに整理・手入れされていて居心地よく感じる。</li> <li>・事業所を利用されている人も、そうでない人も誰でも気軽に訪れるようになればいいと思う。</li> <li>・屋内・屋外・畑などきれいに清掃がされている。不快な臭いもなく居心地が良い。</li> <li>・利用者の方がどちらから来られているのか分かれば民生委員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方や民生員さんへ声をかけ、あずま屋でのイベントを検討。あずま屋や畑といった環境を地域との繋がりの方を有効活用していく。</li> </ul>

			<p>の方へ事業所へも来て下さいと伝えてみたらいかがか？私は毎回お会いできて嬉しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・素晴らしい環境であると思う。</li> <li>・とても清潔な環境だと思うので今後も維持してほしい。</li> </ul>	
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等を通し地域の方や近隣の保育園との交流を増やし関係性を深めていく。</li> <li>・地域の清掃作業など地域へ出向いて交流を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流活動である「お茶ったもんせ」を継続開催でき地域の方々との交流を図れた。</li> <li>・地域の清掃作業への参加は出来たが事業所からは一人だけの参加となってしまった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のイベントや保育園とも関りをもって地域の為に活動していると思う。</li> <li>・皆さん笑顔で対応されていてよい環境だと思う。</li> <li>・今の時点で十分地域との関りがもてているので今後も継続してほしい。</li> <li>・地域の交流は良好であら。</li> <li>・地域の行事がほとんどなくなったので、なかなか交流が出来ないと思った。</li> <li>・高齢者と乳幼児なので感染症予防の為、大事をとって計画通りにはできなかった。</li> <li>・「お茶ったもんせ」等積極的に地域との関りに取り組んでいる。</li> <li>・定期的に地域との交流計画を立て実行されている</li> <li>・地域の方々への挨拶や声掛けを継続してより一層事業所のことを知ってもらえたら嬉しく思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月地域交流活動である「お茶ったもんせ」を継続開催し地域の方々との交流を深める。</li> <li>・明るい挨拶を心掛け良い雰囲気づくりに努める。</li> </ul>
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や民生委員の定例会の日時を把握し参加する。</li> <li>・ご利用者の地域行事を把握し地域行事へ参加して頂けるよう支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会や民生委員の定例会への参加はなかったが、ご利用者の住む地域の情報など収集し地域行事(敬老会)への参加など実践できた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な年中行事(門松づくり・初詣・クリスマス会など)を実行していて楽しそう。</li> <li>・自治会長や民生委員との連携はこれまで通り密にしている。</li> <li>・個人チェック集計を見ると利用者との対話の必要性を感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの方に関心を持っていたけるよう、事業所での取り組みなどインスタグラムを活用して発信していく。</li> <li>・一時帰宅や墓参りなど地域との繋がりを意識した個別支援を積極的に実施する。</li> </ul>

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・細めにインスタで利用者様を支える取り組みを拝見しています。とても参考になります。</li> <li>・その方の生まれた、又は暮らしてきた場所・地域に出向いて行事に参加するなどとても大切だと思いながら、実際なかなか実現出来ないもどかしさはよく分かります。まずは何か1つでも(小さなことでも)よいと思う。</li> <li>・地域行事への利用者との参加や、一時帰宅を支援等、今後も継続してもらいたい。</li> </ul>	
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に運営推進会議を開催し推進委員や地域の方々からの意見を反映した取り組みを職員一丸となって行っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議は定期的に行っていたが、会議の中で推進員の方々全員のご意見をいただけるような進行が出来ていなかった。</li> <li>・会議では特定のスタッフのみの参加となり、また会議内容の共有の在り方に課題が残った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の実情の意見交換が出来ていたと思う。</li> <li>・会議が堅苦しくならないよう、発言しやすい雰囲気を作ってくれ有意義な意見交換ができたと思う。</li> <li>・パワーポイントを使用し事業所の取り組みが説明されている。</li> <li>・運営推進会議で保険者(行政)の声を聞きたい。</li> <li>・利用者の方々の笑顔いっぱいの写真が見ることができ嬉しく思う。</li> <li>・会議では事業所の日常を見聞きし他の話になり終わってしまうので、職員の困りごと等あればどのように対応するのか？話しやすい場で発言の場があるのか聞いてみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間スケジュールを立て評価など時間を掛けられるよう配慮する。</li> <li>・活動内容が伝わりやすいよう工夫し、報告を行う。また、運営推進会議では推進委員の皆さんが発言しやすいよう、タイムスケジュールやレジメの管理を行う。</li> </ul>

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民の方を交えた避難訓練を実施するとともに有事の際、円滑な避難や連携がとれるよう地域防災委員体制を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内での避難訓練は実施していたが地域住民を交えた避難訓練を実施できていなかった。協力体制も以前のままとなっていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と方々と一緒に行うことが本当の災害時には役立つことは分かっているが、なかなか時間や人の関係で困難だろうと思う。しかし色々な事業所の中でも地域とのつながりが強い事業所だと感じる。</li> <li>・参加したことがないのでわからない。</li> <li>・訓練、備蓄、定期的な防災セットの点検はきつとしていると思う。</li> <li>・災害時の対処法、備蓄、職員確保、利用者や地域の方の避難支援等様々な想定をして訓練してもらえればと思う。</li> <li>・運営推進会議で防災をテーマに話し合ってもいいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方々と共に防災訓練を計画・実施する。また、訓練時には推進委員の方々への見学案内や活動報告を行い、地域防災に関するテーマについて話し合う場を設ける。</li> <li>・有事の際、円滑な避難や連携がとれるよう地域防災委員体制を整える。</li> </ul>
----------------------------	--	--	---	--